

2025年1月30日

各位

株式会社北洋銀行

株式会社日本経営情報システム様が SDGs(ふるさと応援)私募債(銀行保証付私募債)を発行

株式会社日本経営情報システム様(本社:札幌市、社長:市村 浩貴氏、資本金:1千2百万円)は、2025年1月31日に第2回無担保社債(株式会社北洋銀行保証付および適格機関投資家限定)「SDGs(ふるさと応援)私募債」3千万円を発行します。年限は5年、受託(財務代理人に就任)・引受についても北洋銀行が行います。本件私募債の調達資金は事業資金に充当する予定です。

同社は1989年の創業で、病院や自治体水道事業といった公営企業向け財務会計システム開発を主業としています。お客さまに合わせたシステム開発を行い、導入支援から保守・点検を手掛けています。

創業から35年以上の実績があり、道内公営病院だけでなく、今では道外のお客さまとの取引も増え、全国に事業を拡大しています。

また、社内電子決裁システムの開発にも注力しており、これからも社会の発展に貢献できるよう、システム開発に日々励んでいる企業です。

「SDGs(ふるさと応援)私募債」は、適債基準をクリアした優良企業が発行できる私募債です。当行は、お客さまが私募債をご利用される際、発行金額の0.2%相当額をお客さまが希望する道内の市町村へ寄付寄贈します。本商品をご利用いただくことにより、お客さまは「優良企業」としての社会的評価と、地域貢献に対する取組姿勢を広くアピールすることや、市町村へ支援の気持ちを伝えることができます。

「SDGs(ふるさと応援)私募債」は、銀行保証型、保証協会保証型の2種類があり、「SDGs(ふるさと応援)私募債(銀行保証型)」は物的担保の代わりに銀行の保証を付けることで、無担保で社債の発行が可能になるものです。



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋SDGs宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGsに関連するプレスリリースには、該当するSDGsのアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。